

2020年6月15日

各 位

会 社 名 SAMURAI&J PARTNERS株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山口 慶一
コード・上場 4 7 6 4 ・ J A S D A Q
問 合 せ 先 取締役管理本部長 正司 千晶
電 話 番 号 0 3 - 5 2 5 9 - 5 3 0 0 (代表)

連結子会社におけるクラウドファンディング新サービス開始のお知らせ
(SAMURAI FUND Lite 誕生)

当社グループは、クラウドファンディングサイト「SAMURAI FUND」にて貸付型のクラウドファンディング商品を中心に展開してまいりましたが、この度、当社の連結子会社であるSAMURAI ASSET FINANCE株式会社にて、投資未経験の方々にも気軽に参加していただける新サービスを開始することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 新サービス開始の趣旨

当社グループではこれまで、多くの方々が投資を身近に感じ、気軽に投資へ参加できる環境を提供したいと考え、安心感のあるクラウドファンディング商品の展開に注力してまいりました。そして、今後の更なるクラウドファンディング業界の成長や金融概念に変化を与えるためには、多くの方々が楽しみながら、自らが選んで投資へ参加できる環境の提供が必要であると考え、「投資の体験版」という位置づけにて、人々が応援したいという想いを形にできる本サービスを開始することといたしました。

2. 新サービスの概要

- (1) サービスサイト名：サムライ SAMURAI ファンド FUND ライト Lite
- (2) サービス管理会社：SAMURAI ASSET FINANCE 株式会社
- (3) サービス内容：応援したい企業や人物等の商品の購入やプロジェクトへの参加、寄付等ができるサービス
- (4) サービス開始のために特別に支出する金額及び内容：システム開発費用として約1,000万円
- (5) サービス開始時期：2020年7月上旬（予定）

3. 今後の見通し

今後、本サービスにおいては、エンターテインメント性のある商品展開を予定しており、業務提携先である株式会社 KeyHolder 及びそのグループ会社との連携を図るほか、様々な企業との連携を図ってまいります。

なお、今後、本件に関して、当社グループの業績に影響を与えることが判明した場合は、速やかにお知らせいたします。

<ご参考>

当社グループの展開するクラウドファンディングサイト「SAMURAI FUND」の今後の取組みにつきましては、下記資料にまとめております。

以 上



SAMURAI FUND

< 補足説明資料 >
SAMURAI FUNDの今後の取組み

金融革命 | 真の直接金融へ

SAMURAI & J PARTNERS株式会社

2020年6月15日

金融革命 | 真の直接金融へ

我々はこれまでの暮らしの中で、銀行預金を通じて企業への貸付を、証券会社や投資信託などを通じて金融商品への投資を行ってきました。この仕組みは、私たちが直接、資金ニーズ先に資金を提供するのではなく、銀行や資産運用会社が間に入り、「間接的に」「自ら選ぶことなく」資金の提供を行ってきたことがポイントです。

SAMURAI FUNDは、投資家の皆様が「直接的に」「自ら選んで」資金ニーズのある企業やプロジェクトに投資することを実現する金融プラットフォームを目指しています。

もちろん、初めは「自ら選んで」投資するのは難しいかもしれません。

だからこそSAMURAI FUNDは、皆様が安心して、そして楽しんで投資できるよう、以下に注力して参ります。

- ①取扱う投資商品の厳選
- ②取扱う投資商品についての分かりやすい説明と積極的な情報開示
- ③一人一人が適切な投資バランスを実現できるような投資アシスト機能の強化

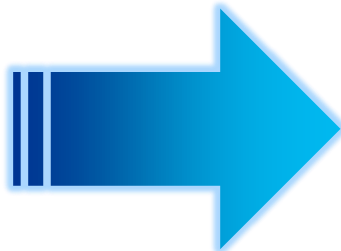
投資家の皆様には「新しい資産運用」のカタチを、資金需要者の皆様には銀行や投資会社からだけではない「新しい資金調達」のカタチを創り、より良い世界の実現に資するべく当社グループ一丸となって邁進して参ります。

SAMURAI & J PARTNERS株式会社
代表取締役社長 山口 慶一

SAMURAI FUNDのビジョン

- ✓ SAMURAI FUNDは、様々な資金調達ニーズや金融商品をファンドとして商品化・小口化することで、投資家が「直接的に」「自ら選んで」投資することができる金融プラットフォームの実現を目指す

様々な資金ニーズや金融商品に対し
「直接的に」「自ら選んで」投資ができる
金融プラットフォーム



商品化 × 小口化

投資を通じて、人と人をツナグ世界を創る

投資家と資金を調達したい企業や事業者を繋ぐ

- ✓ 投資家：応援したい企業やプロジェクトへの投資を通じて社会貢献の実現や経済的リターンの獲得を目指す
- ✓ 事業者：応援してくれる人・投資家から資金調達ができる（感情が載ったお金の調達）

誰もが少額で、世界中の金融商品にアクセスできる世界を創る

一人ひとりの小口投資をまとめることで大口投資家に

- ✓ 富裕層や機関投資家等の大口投資家しか投資ができなかった世界中の優良な金融商品に対して、一人ひとりの少額の資金をまとめることで誰もがアクセス可能にする

etc.

SAMURAI FUNDとは

- ✓ SAMURAI FUNDは、資産運用したい個人の投資家と、資金調達したい事業者を繋ぐ投資型クラウドファンディングプラットフォームであり、連結子会社であるSAMURAI証券にてサービスを展開



<https://www.samurai-fund.jp/>

SAMURAI 証券

会社概要		
商号	号	SAMURAI証券株式会社
本社	社	東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 虎ノ門ファーストガーデン 10階
設立	立	2002年2月
代表者	者	代表取締役 中山 幹之
事業内容	容	第一種・第二種金融商品取引業 関東財務局長（金商）第36号
加入協会・基金		日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、日本投資者保護基金
URL	L	https://sajp-sec.co.jp/

これまでの取組み (2019年～現在)

- ✓ 2019年～現在においてSAMURAI FUNDのサービス拡大をはかるべく、取扱商品の拡充ならびに会員獲得に向けた業務提携をはじめ、継続的な組織体制強化・システム刷新を実施

2019年の取組み

- ✓ 「Jトラスト株式会社」グループ及び「maneoマーケット株式会社」等との業務提携を実施
- ✓ 株式会社日本保証との提携商品である「日本保証 保証付きファンド」をリリース



2020年1月-5月の取組み

- ✓ サービスサイトリニューアルならびにブランド名称を「SAMURAI FUND」に刷新
- ✓ 累計登録会員数が1万人を突破
- ✓ 「日本保証 保証付きファンド」を主軸に商品を展開。累計運用額を拡大



累計登録会員数・運用額

累計登録会員数

1万人以上

新規会員の獲得に向け取組中

累計運用額の増加率*

100%超

2019年の累計と2020年1月-5月の累計を比較

*対象期間において運用を開始したファンドの累計額

保証会社による債務保証付きファンド (国内クラウドファンディング初*) である「日本保証 保証付きファンド」を主軸に貸付型のクラウドファンディング商品を展開。累計登録会員数ならびに運用額が大幅に拡大

取扱商品の拡充に向けた取組み

- ✓ SAMURAI FUNDの取扱商品の拡充に向け、「保証付きファンド」を主軸に現在展開している貸付ファンドに加え、以下の商品カテゴリについて組織体制強化・システム構築等を含め取組中

会員の目的

SAMURAI FUNDにおける取扱商品のカテゴリ

投資する
(投資家会員)



<現在展開中>

① 貸付 × 保証

コツコツしっかり
資産運用
「貸付ファンド」

<リリース予定>

② 出資 × 相乗り

優先出資による
相乗り投資
「事業ファンド」

<準備中>

③ プロ向け投資 × 小口化

世界中の優良な
金融商品の小口化

購入する
(ライト会員)



<リリース予定>

SAMURAI FUND への Gateway (体験版)
自分の想いを届ける 「SAMURAI FUND Lite」

アップグレード (口座開設)

誰でもワンクリックで会員登録

<① 貸付 × 保証 >

コツコツしっかり資産運用 「貸付ファンド」

- ✓ 業務提携先である株式会社日本保証とのタイアップ商品である「日本保証 保証付きファンド」を主軸に運用額の拡大に向け、継続的な商品リリースを実施

日本保証 保証付きファンド (イメージ)

貸付ファンドの商品ラインナップ (一部抜粋) *



保証付きファンドを主軸に継続的な商品リリースを実施

日本保証

利回り5% × 毎月分配 × 不動産 (担保付き)

日本保証 保証付きファンド 4号

目標利回り：年5% (税引前)

SAMURAI 証券

日本保証 × 不動産 × 毎月分配 (保証付き) (担保付き)

1万人突破記念 キャンペーンファンド

目標利回り >>> 年8% (税引前)

SAMURAI FUND

日本保証

利回り4.5% × 日本保証 保証付き

上場企業グループ事業支援ファンド 1号

目標利回り：年4.5% (税引前)

SAMURAI 証券

利回り7% × 元利金毎月返済型

「日本の企業を元気に!」 事業支援ファンド1号

目標利回り >>> 年7% (税引前)

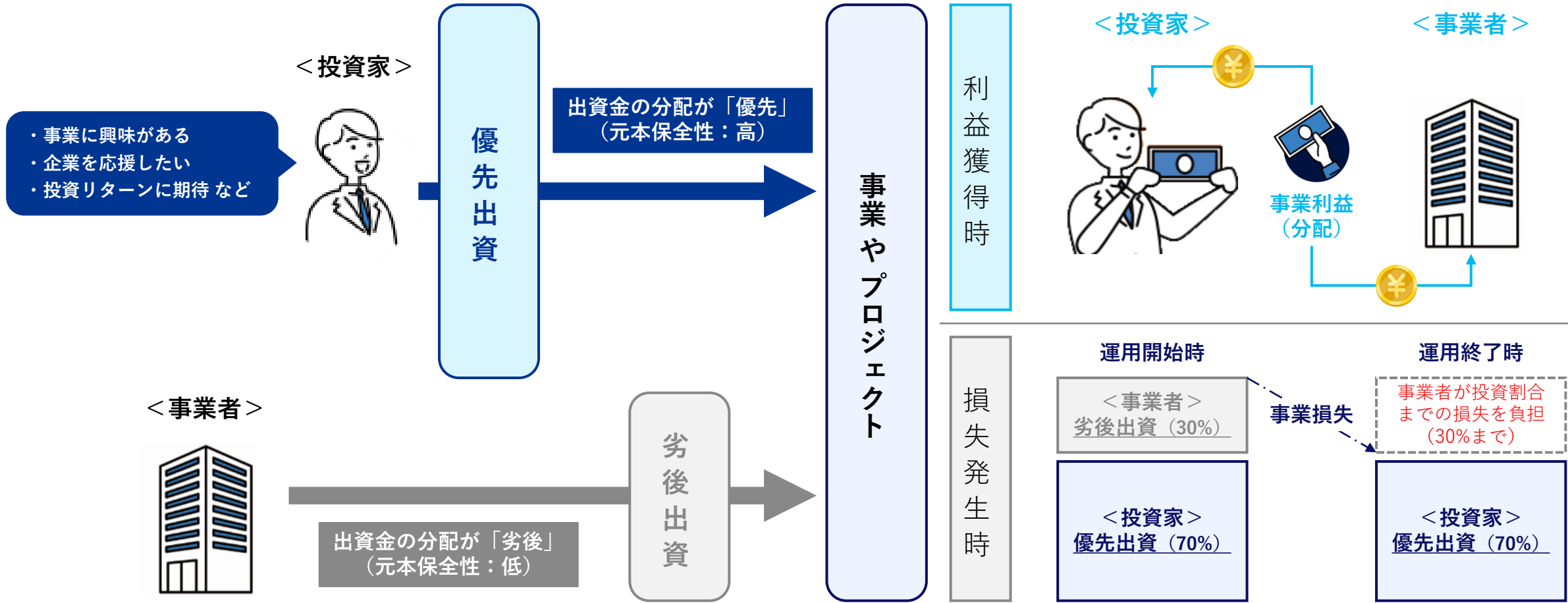
SAMURAI FUND

*2020年1月~5月において募集を行った商品の一部を抜粋

<② 出資 × 相乗り>
優先出資による相乗り投資 「事業ファンド」

- ✓ 事業やプロジェクトに対して、投資家が事業者と共同で投資を行うファンド
- ✓ 出資金の分配に優劣を設定することで、投資家の元本安全性を高めた商品を展開予定

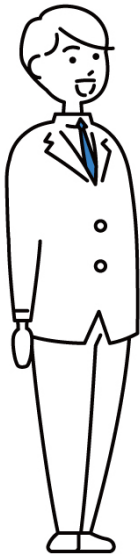
<事業ファンドのイメージ>



<③ プロ向け投資 × 小口化 >
世界中の優良な金融商品の小口化

- ✓ 富裕層しかアクセスすることが出来なかった様々な金融商品を小口化することで少額投資の実現を目指す
- ✓ SAMURAI証券が有する「第一種金融商品取引業」の強みを活かした取扱商品の拡大に向け準備を開始

- ・ 様々な金融商品にアクセスしたい
- ・ ポートフォリオを形成したい
- ・ 投資リターンに期待 など



金融商品開拓・商品化・小口化

- ✓ 優良金融商品の開拓・商品化
- ✓ 取扱単価の大きい金融商品の小口化
- ✓ 商品の取扱審査・モニタリング など

「証券会社」としての強みを活かした
 金融商品の取扱いに向け組織体制強化
 ・システム構築等に着手

世界中の様々な金融商品
 (有価証券等)

< 「体験版」 SAMURAI FUND への Gateway >
自分の想いを届ける 「SAMURAI FUND Lite」

- ✓ SAMURAI FUNDの「体験版」としてサービスを展開し、会員獲得に向けた裾野拡大を目指す
- ✓ 応援したい企業やプロジェクトに対し、商品購入や寄付を通じて自分の想いを届けるサービス

SAMURAI FUND



投資に対して興味のある会員（投資家会員）

アップグレード
 (口座開設)

SAMURAI FUND Lite



様々な目的を持った会員（ライト会員）

誰でもワンクリックで会員登録（体験版）

- ・商品に興味がある
- ・企業を応援したい
- ・社会貢献したいなど



①購入・寄付
 (応援・想い)



②商品・サービス

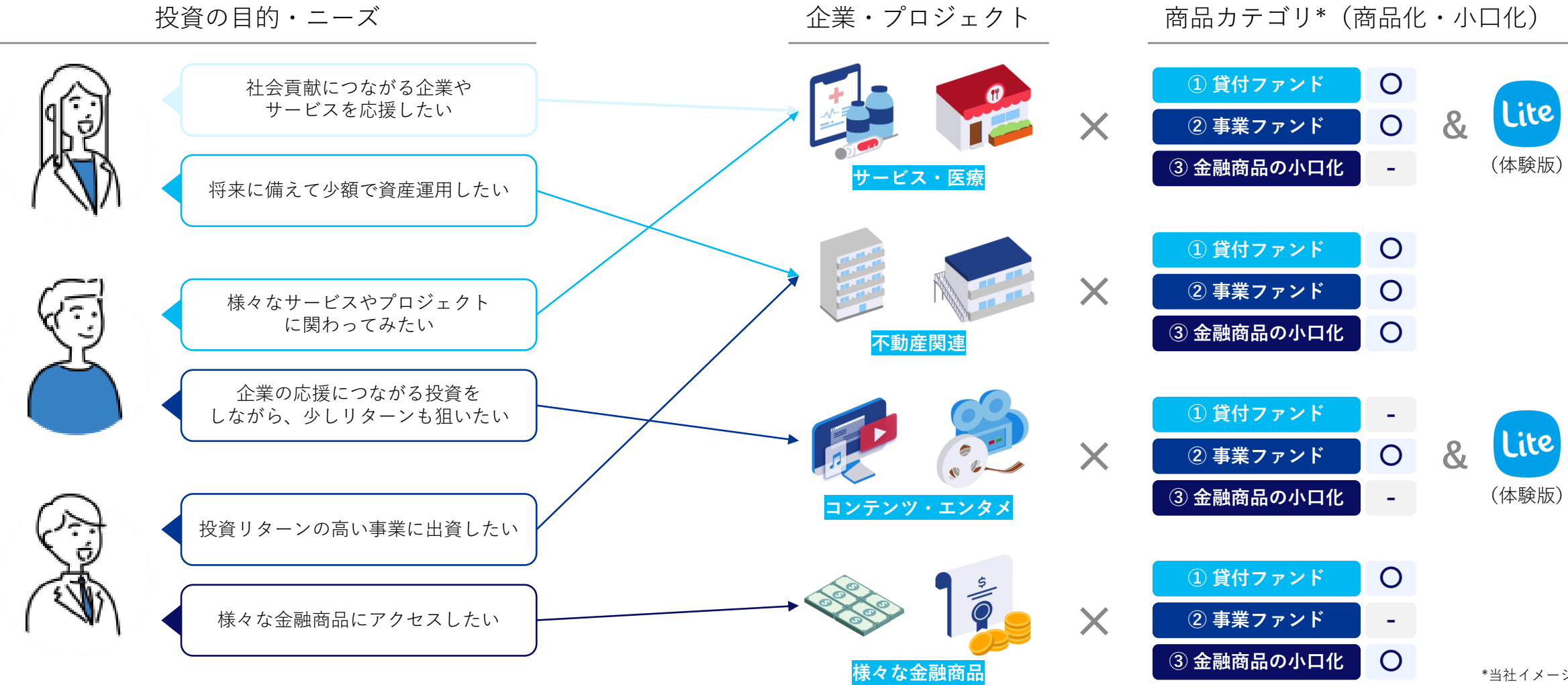


SAMURAI FUND Lite

映画・出版 	飲食・サービス
エンタメ 	音楽・アーティスト
海外・旅行 	新商品 など

企業・プロジェクト × 商品カテゴリで実現する様々な投資

✓ 様々な企業・プロジェクトに関する資金ニーズや金融商品を商品カテゴリに応じて商品化・小口化することで、誰もがそれぞれの目的やニーズにあった投資の実現を目指していく



*当社イメージ 11

会員獲得・認知度向上に向けた取組み

- ✓ さらなる会員獲得に向け、動画広告や業務提携等により投資ニーズのある顧客開拓に取り組んでいく
- ✓ 投資家への情報発信チャンネルを拡大することで、SAMURAI FUNDの認知度向上をはかっていく

施策の目的

これまでの主な取組み

今後の強化していく取組み

顧客の開拓に向けた施策

- ✓ PRサイトやオンライン記事媒体を活用したプロモーション活動
- ✓ 検索サイトやアフィリエイト等を活用したターゲット広告の配信



- ✓ 既存提携先との連携強化・会員ネットワークを有する提携先の開拓 など
- ✓ 動画広告や動画メディアの活用



認知度向上に向けた施策

- ✓ メルマガ配信・セミナー開催
- ✓ HP改善・販促キャンペーン活動
- ✓ SNS（累計フォロー数：2,000件以上*）を活用した情報発信

*2020年5月末現在



- ✓ オンラインセミナーの開催や動画配信
- ✓ 継続的なHPの改善・アプリ導入の検討
- ✓ SNSを活用した情報発信の強化



運営体制強化に向けた取組み（システム・組織体制 他）

- ✓ SAMURAI FUNDでは、さらなる取扱商品の拡充ならびに会員獲得・認知度向上に向けた取組みに合わせ、運営体制強化をはかるべく、システム投資・機能改善ならびに組織体制の強化に取り組む

システム投資・機能改善

顧客満足度の向上

UI/UX（ユーザビリティ等）向上

投資アシスト機能の提供

ロイヤリティプログラムの開発

取扱商品の拡充

購入型クラウドファンディングの開始

事業型クラウドファンディングの拡大

一種有価証券（株・債券・投信等）の取扱

コンプライアンス強化

関係法令・規則等の遵守強化

継続的なセキュリティ強化対応

組織体制の強化

SAMURAI & J PARTNERS

- ✓ 上場会社グループとしてのガバナンス統制（内部統制・内部監査等）
- ✓ 出向等による人的支援

SAMURAI 証券

法令遵守・コンプライアンス意識の強化

社内外における定期的な研修実施・参加

関係法令・規則等の改正・見直しへの対応

従業員の資格取得支援

外部専門人材の活用・意見聴衆



本資料は、当社の事業及び業界動向についての現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しております。これらの予想等に関する表明は様々なリスクや不確実性を内包するものとなります。また、掲載された情報の正確性、有用性、また適切性等について、当社は一切保証するものではなく、本資料に掲載された内容は、事前の通知なくして変更されることがあります。

本資料に関する問合せ窓口

経営管理部 IR担当

問合せページ：https://www.sajp.co.jp/ir_inquiry/